SOMPO

交付運用報告書

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド アジア通貨コース



追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2025年８月13日～2026年２月10日

第167期 決算日：2025年 9 月10日　第168期 決算日：2025年10月10日
第169期 決算日：2025年11月10日　第170期 決算日：2025年12月10日
第171期 決算日：2026年 1 月13日　第172期 決算日：2026年 2 月10日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、アジア通貨で為替取引を行うことにより、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第172期末　2026.2.10	
基準価額	2,883円
純資産総額	2,560百万円

第167期～第172期 2025.8.13～2026.2.10	
騰落率※	10.1%
期中分配金合計	240円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。
なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法

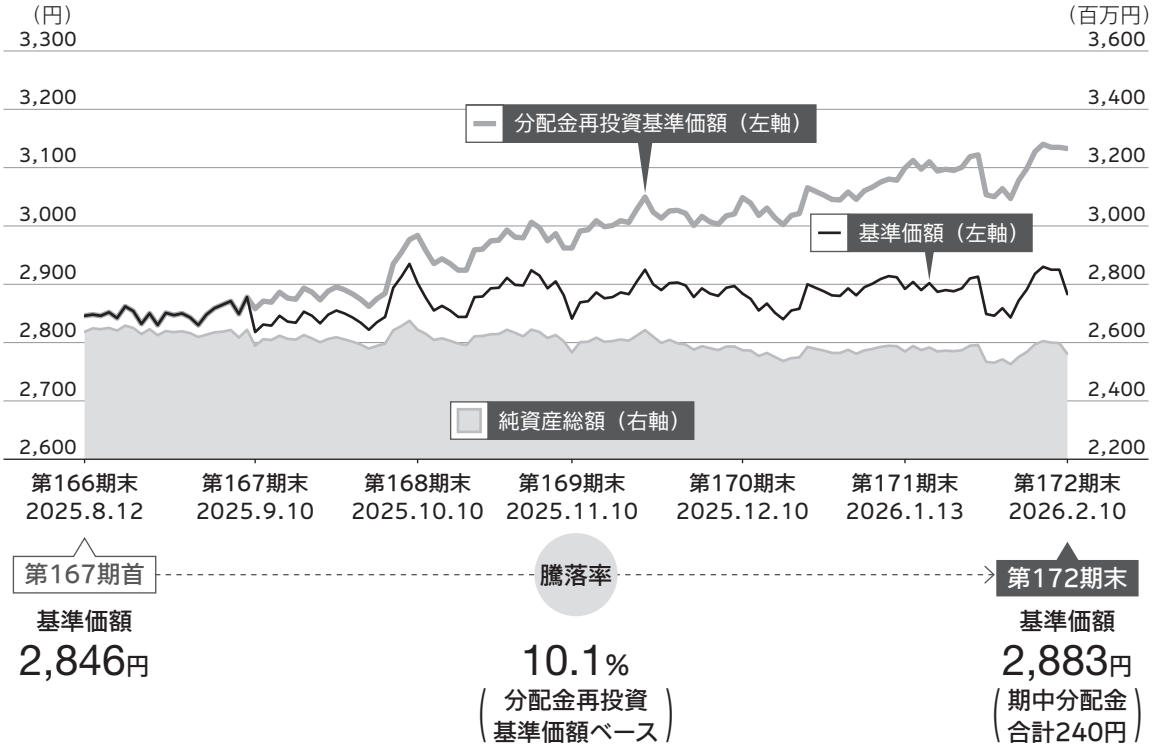
https://www.sompo-am.co.jp/
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社
東京都中央区日本橋二丁目２番16号　共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部
（受付時間 営業日の午前９時～午後５時）
0120-69-5432

運用経過

基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2025年８月12日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「アモーヴァ　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」および「ライオン　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

基準価額の主な変動要因

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド　アジア通貨コース

主要投資対象である「アモーヴァ　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」および「ライオン　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」がプラスに寄与したことから、分配金再投資基準価額の騰落率はプラスとなりました。

● 本報告書では、ベビーファンド、マザーファンドおよびマザーファンド以外のファンドを下記の様に統一して表記しています。

ベビーファンド　マザーファンド　マザーファンド以外のファンド

1万口当たりの費用明細

項目	第167期～第172期 2025.8.13～2026.2.10		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	14円	0.505%	(a)信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× 各期の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は2,872円です。
（投信会社）	（ 6）	（0.208）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（ 8）	（0.280）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 0）	（0.016）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.006	(b)その他費用＝ 各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 0）	（0.005）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	14	0.511	

注１．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注２．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

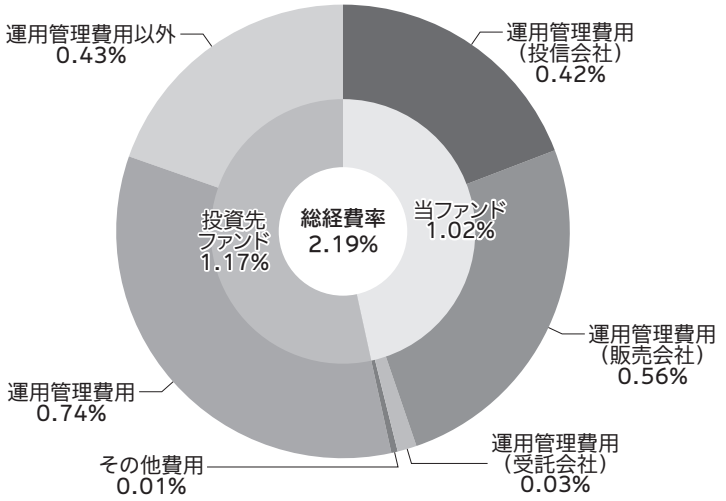
注３．比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

注４．各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.19%**です。

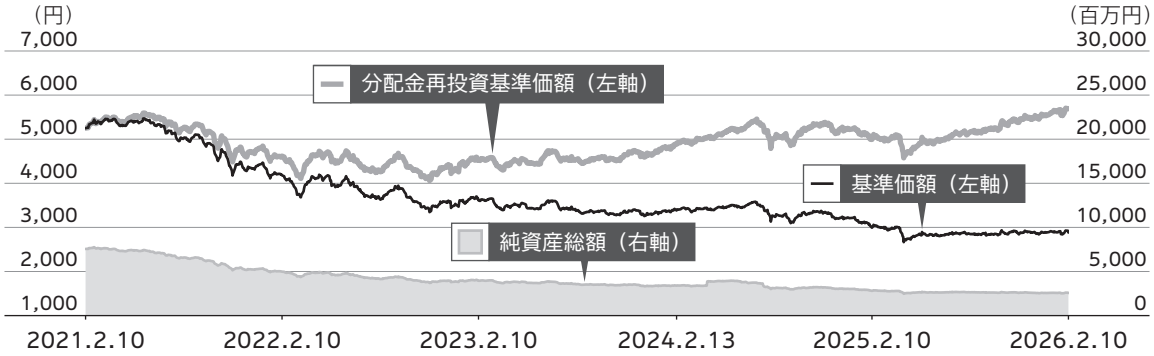


（単位：%）

総経費率(①＋②＋③)	**2.19**
①当ファンドの費用の比率	1.02
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.43

注１．当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
注２．各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
注３．各比率は、年率換算した値です。
注４．投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
注５．当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
注６．当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
注７．上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移　2021.2.10～2026.2.10



- 分配金再投資基準価額の推移は、2021年２月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、「アモーヴァ　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」および「ライオン　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」への投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日		2021.2.10 決算日	2022.2.10 決算日	2023.2.10 決算日	2024.2.13 決算日	2025.2.10 決算日	2026.2.10 決算日
基準価額	（円）	5,248	4,180	3,611	3,383	2,992	2,883
期中分配金合計（税引前）	（円）	－	480	480	480	480	480
分配金再投資 基準価額騰落率	（%）	－	△ 12.0	△ 1.9	7.8	2.2	13.9
純資産総額	（百万円）	7,557	4,979	3,953	3,392	2,805	2,560

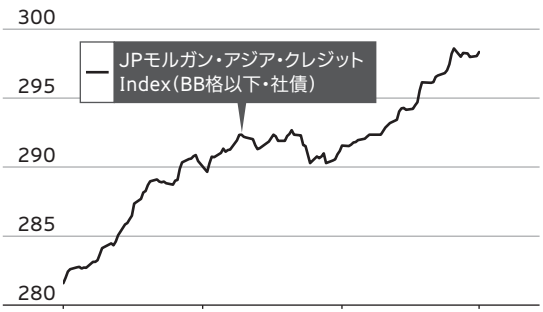
投資環境

当期は、一時的な調整を挟みつつも、スプレッド縮小と利回り低下（価格は上昇）が市場を支える傾向が続きました。期の序盤、アジア・ハイ・イールド債券市場は堅調に推移して始まりました。金融緩和への期待を背景とした米国債利回りの低下やクレジットスプレッドの縮小で、良好なリターンを記録しました。中盤には、スプレッド拡大と利回り上昇（価格は下落）により、一時的にパフォーマンスはマイナスに転じる局面もありましたが、その後市場は回復し、再び良好なリターンを維持しました。終盤には米国債利回りが上昇する局面もありましたが、アジア・ハイ・イールド債券のスプレッドは一段と縮小し、利回りはさらに低下しました。

ドル円相場は円安ドル高になりました。日本の政局流動化や財政拡張懸念、FRB（米連邦準備理事会）の利下げ慎重姿勢が重なり、期の中盤にかけて円安ドル高基調となりました。終盤には、米ドルの軟化や日米協調介入観測などから、一時的に円高ドル安となりましたが、日銀のハト派（金融緩和に積極的）姿勢や米国の高金利継続を背景に、再び円安へと反転しました。

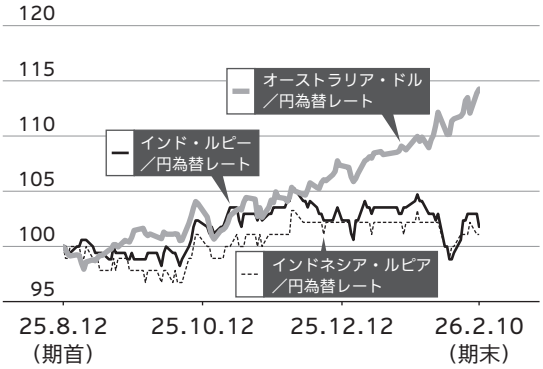
このような環境下、アジア通貨については、

市況の推移



（出所：Bloomberg）

為替レートの推移



（出所：Bloomberg）

注１．為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

注２．為替レートは期首を100として指数化しております。

インドネシアルピア、インドルピー、オーストラリアドルはともに対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオ

期を通じて、「アモーヴァ　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」および「ライオン　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」の投資比率を高位に維持しました。

アモーヴァ　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）

アジア・ハイ・イールド債券のプラス寄与に加え、アジア通貨が対円で上昇したことからプラスになりました。

ライオン　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）

アジア・ハイ・イールド債券のプラス寄与に加え、アジア通貨が対円で上昇したことからプラスになりました。

マネープールマザーファンド

コール・ローンや、残存期間１年未満の公社債を中心とした運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、「アモーヴァ　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」および「ライオン　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」の投資比率を可能な限り高位に保ちますが、本投資信託証券のコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税引前）

項目	第167期 2025.8.13 ～ 2025.9.10	第168期 2025.9.11 ～ 2025.10.10	第169期 2025.10.11 ～ 2025.11.10	第170期 2025.11.11 ～ 2025.12.10	第171期 2025.12.11 ～ 2026.1.13	第172期 2026.1.14 ～ 2026.2.10
当期分配金	**40**	**40**	**40**	**40**	**40**	**40**
（対基準価額比率）	1.400%	1.360%	1.388%	1.368%	1.364%	1.368%
当期の収益	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	7,163	7,170	7,176	7,184	7,190	7,196

注１．「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注２．円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注３．当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

注４．投資信託特有の会計処理により、「翌期繰越分配対象額」が基準価額を上回っている場合がありますが、実際に基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

決算期毎にインカム収入※を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、債券の利子収入、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）収入等をいいます。

- ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

今後の運用方針

りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド　アジア通貨コース

今後も、「アモーヴァ　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」および「ライオン　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）」の投資比率を高位に保つことにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

アモーヴァ　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）

アジアのクレジット市場については、慎重ながらも建設的な見解を維持しています。良好なファンダメンタルズと需給要因の継続が見込まれ、タイトなクレジットスプレッドが続くものと見ていますが、スプレッドのさらなる縮小余地は限定的で、リターンの主な原動力はキャリー収益となると予想しています。米国の利下げペースの変化や、マクロ経済の方向性、地政学リスクの継続などの不確実性によるクレジットスプレッド拡大の可能性には引き続き注意が必要と考えています。こうした環境下、キャリー収益を重視しつつ、リスク管理を徹底する投資姿勢をとる所存です。

ライオン　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４）

足元ではアジア・ハイ・イールド債券のスプレッドは縮小しており、絶対的なバリュエーションは割高に見えます。ややタカ派（金融引き締めに積極的）と見られるケビン・ウォーシュ氏が次期FRB議長に指名されたことで、今後長期債に比べて中期債が選好される可能性があります。一方で、引き続きクーポンなどのキャリー収益が主なリターンの源泉になると、基本的に考えているため、市場に対して中立的なデュレーションを維持し、相対的にキャリー収益を重視して選別的に投資を行う方針です。

マネープールマザーファンド

安全性、流動性の高いコール・ローンや、残存期間１年未満の公社債を中心とした運用を行う方針です。

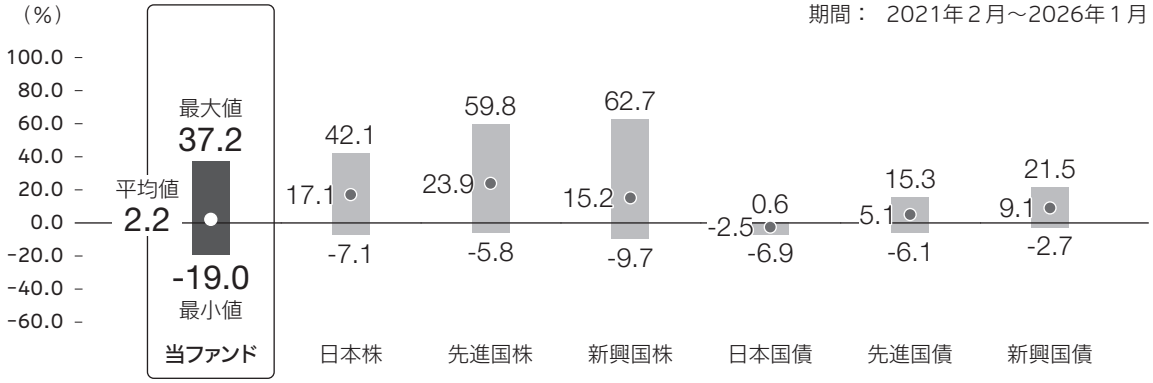
お知らせ

当該証券投資信託が投資対象とする外国籍投資信託の運用会社が社名変更となり、本変更により、投資対象とする外国籍投資信託の名称も変更となるため、信託約款に所要の変更を致しました（2025年９月１日）。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2011年９月30日から2026年８月10日まで
運用方針	インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。
主要投資対象	**りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド　アジア通貨コース** 投資信託証券
	アモーヴァ　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４） アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	ライオン　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラス４） アジア地域の米ドル建てのハイ・イールド債券等
	マネープールマザーファンド わが国の公社債等
運用方法	① 主として日本を除くアジア（オセアニアを含む）のハイ・イールド債券（米ドル建て等）を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。 ② アジア通貨で為替取引を行います。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



＊ 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

＊ 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関しての詳細は18ページをご参照ください。

当該投資信託の組入資産の内容

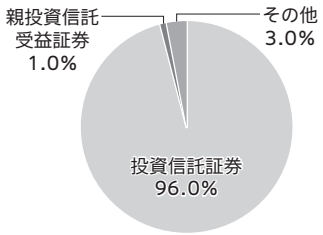
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

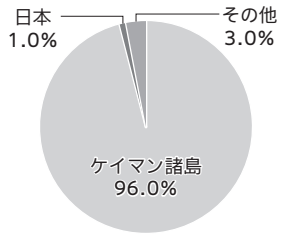
	第172期末 2026.2.10
Amova Asia Investment Series- Amova AsiaHighYieldBondFund IV	61.6%
Lion Global Investors Asian High Yield Bond Fund Class 4 (AC)	34.4%
マネープールマザーファンド	1.0%

注．比率は第172期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第172期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第167期末 2025.9.10	第168期末 2025.10.10	第169期末 2025.11.10	第170期末 2025.12.10	第171期末 2026.1.13	第172期末 2026.2.10
純資産総額	2,588,997,840円	2,644,263,290円	2,566,267,879円	2,573,667,891円	2,569,581,945円	2,560,994,825円
受益権総口数	9,187,616,202口	9,112,190,230口	9,031,622,312口	8,924,533,748口	8,884,787,165口	8,881,712,141口
1万口当たり 基準価額	2,818円	2,902円	2,841円	2,884円	2,892円	2,883円

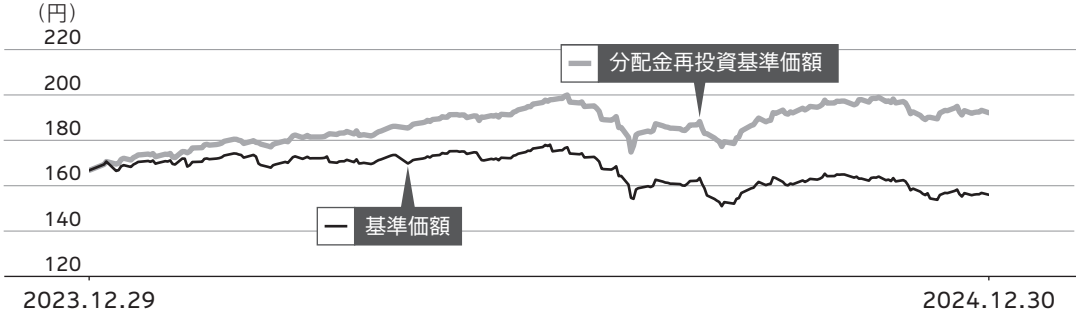
※ 当作成期間（第167期～第172期）中における追加設定元本額は239,820,618円、同解約元本額は624,028,785円です。

組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

日興　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

基準価額の推移（クラス４）



- 基準価額は、りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド　アジア通貨コースの基準価額算出に用いた価額（算出日の前日（海外）の価額）を表示しています。
- 分配金再投資基準価額は、2023年12月29日の基準価額に合わせて指数化しています。

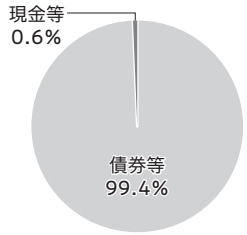
１万口当たりの費用明細

当該期間（2024年１月１日～2024年12月31日）の１万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

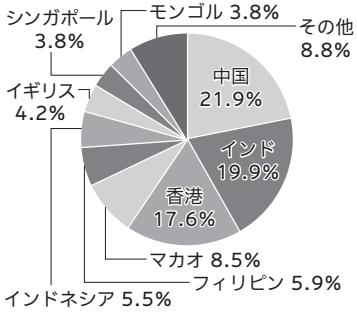
組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	比率
1	GLP PTE. LTD. 3.875% 04-JUN-2025	シンガポール	3.875%	2025/6/4	3.8%
2	YANLORD LAND (HK) CO., LIMITED 5.125% 20-MAY-2026	中国	5.125%	2026/5/20	2.8%
3	SAN MIGUEL GLOBAL POWER HOLDINGS CORP. 8.125% PERP	フィリピン	8.125%	永久債	2.5%
4	GREENTOWN CHINA HOLDINGS LIMITED 4.7% 29-APR-2025	中国	4.700%	2025/4/29	2.5%
5	INDIA CLEAN ENERGY HOLDINGS 4.5% 18-APR-2027	インド	4.500%	2027/4/18	2.4%
6	PINGAN REAL ESTATE CAPITAL LIMITED 3.45% 29-JUL-2026	中国	3.450%	2026/7/29	2.3%
7	NICKEL INDUSTRIES LIMITED 11.25% 21-OCT-2028	インドネシア	11.250%	2028/10/21	2.2%
8	LS FINANCE (2017) LTD. 4.8% 18-JUN-2026	香港	4.800%	2026/6/18	2.1%
9	GOLOMT BANK LLC 11.0% 20-MAY-2027	モンゴル	11.000%	2027/5/20	2.1%
10	GREENTOWN CHINA HOLDINGS LIMITED 5.65% 13-JUL-2025	中国	5.650%	2025/7/13	2.0%
	組入銘柄数		64銘柄		

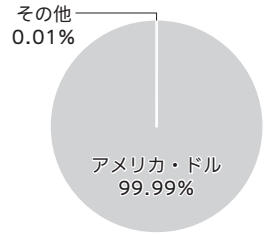
資産別配分



国別配分



通貨別配分



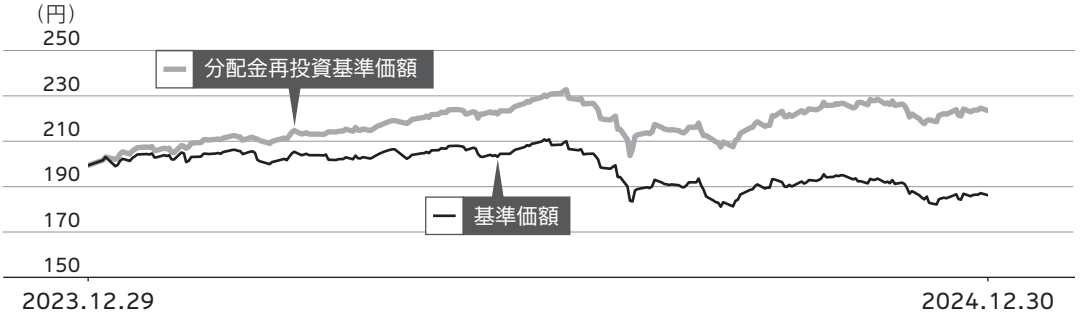
注１．組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2024年12月31日）現在のものです。

注２．比率は純資産総額に対する評価額の割合です。国別配分のその他には、現金等が含まれます。

注３．日興アセットマネジメント アジア リミテッドが作成したデータを掲載しています。

ライオン　アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド

基準価額の推移（クラス４）



- 基準価額は、りそなアジア・ハイ・イールド債券ファンド　アジア通貨コースの基準価額算出に用いた価額（算出日の前日（海外）の価額）を表示しています。
- 分配金再投資基準価額は、2023年12月29日の基準価額に合わせて指数化しています。

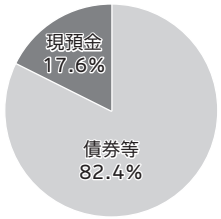
１万口当たりの費用明細

当該期間（2024年１月１日～2024年12月31日）の１万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

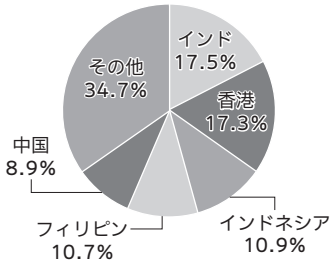
組入上位10銘柄

	銘柄名	国・地域	クーポン	償還日	比率
1	NETWORK I2I LTD 5.65% DUE 31/12/2199	インド	5.650%	永久債	7.0%
2	INDIKA INTI ENERGI PT 8.75% DUE 07/05/2029	インドネシア	8.750%	2029/5/7	5.4%
3	RIZAL COMMERCIAL BANKING 6.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	6.500%	永久債	5.2%
4	SAN MIGUEL CORP 5.5% DUE 31/12/2199	フィリピン	5.500%	永久債	4.1%
5	STUDIO CITY FINANCE LTD 5% DUE 15/01/2029	マカオ	5.000%	2029/1/15	3.8%
6	FAR EAST HORIZON LTD 6.625% DUE 16/04/2027	中国	6.625%	2027/4/16	3.5%
7	SHRIRAM FINANCE LTD 6.15% DUE 03/04/2028	インド	6.150%	2028/4/3	3.4%
8	NWD MTN LTD 8.625% DUE 08/02/2028	香港	8.625%	2028/2/8	3.3%
9	SHANGHAI COMMERCIAL BANK 6.375% DUE 28/02/2033	香港	6.375%	2033/2/28	3.2%
10	PRUDENTIAL FUNDING ASIA 2.95% DUE 03/11/2033	香港	2.950%	2033/11/3	3.2%
	組入銘柄数	43銘柄			

資産別配分



国別配分



通貨別配分



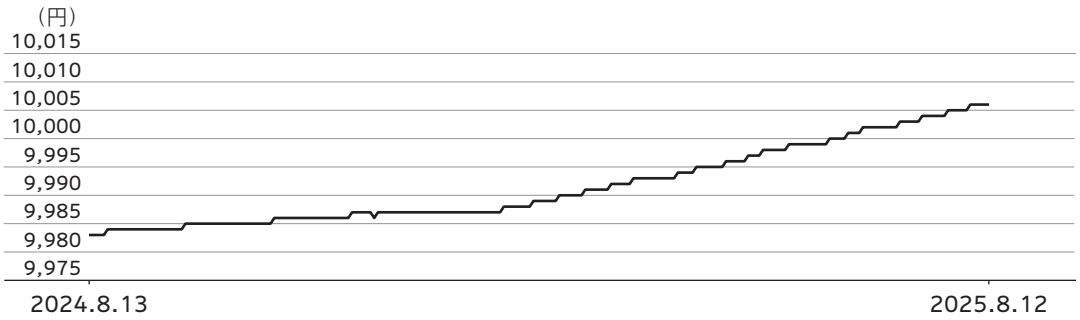
注１．組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの決算日（2024年12月31日）現在のものです。

注２．比率は純資産総額に対する評価額の割合です。国別配分のその他には、現金等が含まれます。

注３．ライオングローバルインベスターズが作成したデータを掲載しています。

マネープールマザーファンド

基準価額の推移



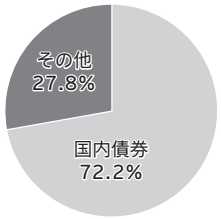
1万口当たりの費用明細

該当事項はございません。

組入上位10銘柄

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	第１３０９回国庫短期証券	国債証券	日本円	日本	18.1%
2	第１３１４回国庫短期証券	国債証券	日本円	日本	18.1%
3	第１３１８回国庫短期証券	国債証券	日本円	日本	18.1%
4	第１３２２回国庫短期証券	国債証券	日本円	日本	18.0%
5	－	－	－	－	－
6	－	－	－	－	－
7	－	－	－	－	－
8	－	－	－	－	－
9	－	－	－	－	－
10	－	－	－	－	－
	組入銘柄数		４銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注１．基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注２．１万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（１万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注３．組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2025年８月12日）現在のものです。

注４．比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。